

のどまつり
のどまつり実行委員会

ト★



平成15年(2003)年
8月号
No.362

広報

のど

主な内容

- ・のど砂まつり……………2
- ・友好町村交流事業……………6
- ・村内のネット利用状況…8
- ・むらのわだい……………10
- ・生涯学習だより……………12
- ・むらの文芸……………16
- ・おしらせ……………18

ホームページ <http://www.vill.nodaiwate.jp>
Eメール soumu@vill.nodaiwate.jp

ナイスポーズで賞をゲット!?

7月26日、27日に開かれた「のど砂まつり」のちびっ子水着コンテストに初めて男の子が出演しました。得意のポーズで審査員たちに存在感を大きくアピール。審査の結果はいかに！（関連記事は4ページ）

雨雲を吹き飛ばせ

「のだ砂まつり」開催

「第十九回のだ砂まつり」が七月二十六日(土)、二十七日(日)の二日間、十府ヶ浦海岸で開催されました。梅雨明け前の曇り空でしたが、訪れた人たちは元気いっぱい楽しいイベントで盛り上がりました。



夏だ！スイカにかぶりつけー！



一日目は開会式前から小雨が降りしきる肌寒い天気となりました。二日目は雨も上がり過ぎやすいくもりの天候で、村内外から訪れた家族連れや若者などでにぎわいを見せました。

会場には、個性あふれる砂の造形や色とりどりのあんどんが立ち並び、ステージ前の砂浜を埋め尽くした手づくりのTシャツが風に揺れ、訪れた人たちの記念写真の的になっていました。

ステージ裏には特設プールが設けられ、久々の水遊びに興じる子どもたちの元気な声が会場いっぱいに響きわたりました。

「Tシャツコンテスト」

【最優秀賞】

・晴山吉貴くん（旭町）

【優秀賞】

・小野寺明子さん（上明内）

・坂下さとりさん（上泉沢）

【久慈地方振興局長賞】

・戸呂町へき地保育所

【団体賞】

・米田地区子供会

【特別賞】

・種綿正博さん（種綿）、米田希美さん（和野平）、菊地結城くん（米田）、式又良子さん（上明内）、野田村保育所、下館郁哉くん（山形村）



左から順に荒川さん、米田さん、坂本さん

「村の看板娘 十府ヶ浦べっぴんさん コンテスト」

コンテストには村内外から五人の美女が参加。エントリーした人たちは「野田村のきれいな海が好き」「料理は自分で作ります」など、照れながらも自分の長所を力強くアピールしていました。

きれいな人たちを前に、審査委員らは参加者以上に緊張しながら慎重に審査する姿も見られ、史上まれに見る激戦となりました。審査の結果、次の人たちが受賞しました。

これから一年間「野田村の顔」として、村のPR活動にがんばってくれます。

べっぴん十府ヶ浦

米田美鈴さん（米田、二）



べっぴんさんが勢ぞろい

べっぴんマリンローズ

坂本美幸さん（久慈市、三）

べっぴんアジアンハウス

荒川顕子さん（八戸市、二五）

ちびっ子水着コンテスト♡



ねえ！私の水着を見て

ちびっ子は少し肌寒い潮風を受けながらも、お気に入りのかわい
い水着姿を披露してくれました。
愛さようある決めのポーズで審
査員を悩殺！目じりの下がりがきつ
た審査員らは全員に賞をあげた
かったというのが本音かも？
【アイドル賞】柳田はるなちゃん
(前田小路)、野崎麻由ちゃん
(岩泉町)、鹿糠みなみちゃん、
新田滯奈ちゃん(ともに久慈市)、
荒川夕茄ちゃん(八戸市)

水上相撲



行司が優勢？

水面に浮かべた土俵で、どちらかが水に落ちるまで力を競い合う水上相撲には、力自慢の七人の力士が参加しました。野田場所の勝負の結果は次のとおりでした。

- ・小学生の部 【優勝】作山 隼くん (下 泉 沢)
【準優勝】上川立紀くん (玉 川)
- ・中学生の部 【優勝】山野吉基くん (門前小路)
【準優勝】古舘良太くん (中 平)
- ・高校生の部 【優勝】中村 順くん

砂の造形 コンクール



『ピーボくん』
(久慈工業高校電子機械科)



『よさこいソーラン』 (米田部落会)



『アストロボーイアトム&お茶の水博士』 (ことぶき鞋)



ビーチ綱引き

- 優勝 大畑広美チーム (山形村)
- 準優勝 岸里しんたろうチーム (久慈市)

ビーチサッカー大会

- 優勝 純情派 (玉山村)
- 準優勝 インテリセンス (久慈市)
- 第3位 アヴァンツァーレ 普代ヤング (普代村)
- 第4位 久慈消防署野田分署 (野田村)

ビーチソフトバレーボール大会

- 優勝 野田SVCチーム (野田村)
- 準優勝 はまなすチーム (野田村)
- 第3位 荷軽部もんぷチーム (山形村)
- 〃 老健しんごうAチーム (新郷村)

のだ砂まつり最大の特徴ともいえるさまざまな砂の造形たち。大作品の部に五点、小作品の部には十四点と、昨年よりも十点多い十九点の応募作品が会場に立ち並びました。話題のキャラクターなどをテーマに、趣向を凝らした楽しい造形たちは訪れた人たちを歓迎するように立ち並び、夏のお祭りをおおいに盛り上げていました。審査結果は下記のとおりです。



砂にめり込んで踏ん張れないー！（ビーチ綱引き）

久慈地方
優良賞



「フランダースの犬」(泉沢子供会)



「曲がり家」(匿名)



「アンティーク」
(久慈工業高校建築科)

優良賞



「十府ヶ浦に〇〇ちゃん出現！！」
(野田村商工会青年部)



丁寧に作り上げられた小作品たち



「金色のガッシュベル〜ガッシュとウマゴン〜」
(野田村役場)



「NODAうさぎ」
(JAIわてくじ青年部野田支部)

長年の夢が実現

様似町で山車を披露

アポイの火まつりに参加



妖精のような金棒引きたち

友好町村である北海道様似町に村の南部風流山車を披露しようと、実行委員会（大沢政廣実行委員長）が企画したもので、村から七十六人が参加しました。



山車の準備にも熱



様似町役場前で記念撮影

この友好町村との交流事業は市町村総合補助金を導入したもので、県から対象経費の三分の二の補助を受けて実施しました。

小太鼓は野田小の六年生七人、笛吹きは野田中の三年生十一人、お祭りを盛り上げ山車を安全に運



太鼓と笛の息もパッチリ



山車の台車はクレーンで吊って移動



友好の話題に花が咲きます

行させようと若連五十人が上・中・下組の各組から参加しました。運行為直前に控え、活気づき始めた町内を雨が襲いましたが、参加者たちの願いが通じたのか、出発する直前に晴れ上がりました。様似町役場前に山車を置き、参加者全員で記念撮影をしてから、音頭上げを行い運行しました。山車の前を歩き、可憐な彩りを添えたのは様似町内から参加した、かわいい金棒引きの子供たち七人でした。慣れない衣装に戸惑いながらも、周囲で光るカメラのフラッシュに笑顔で応えていました。勇壮な山車は会場まで約二・五^キの道のりを威勢の良い「ヨイスヨイサー」の掛け声とともに一時間三十分かけて運行しました。詰めかけた沿道の観衆からは、初めて目にする大きな山車に感嘆のため息が漏れていました。

主会場では「北に住まいし心の友よ、結ぶ絆の風流山車よ」などと歌詞を替えた音頭を披露し、割れんばかりの大きな拍手を浴びました。様似町内の自治会などが作成したねぶたは、きれいに電飾されたものや一部が動くものなど工夫を凝らしたものがかりでした。夜空を照らすねぶたの列は、波音が響く海岸沿いの風景を幻想的に浮かび上がらせていました。



利用希望が過半数を超える

インターネットの意向調査結果

高速インターネット回線の整備を強く働きかけます

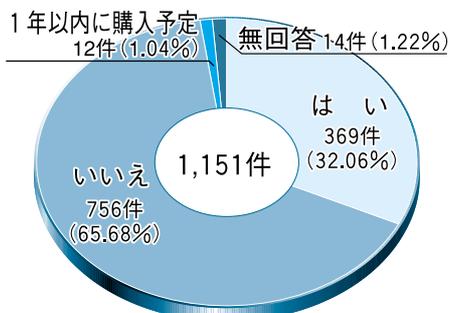
全国で高速インターネット回線の整備が急速に進んでいます。県内でも多くの市町村でこのサービスが提供されていますが、野田村ではいまだに整備の予定がない状況です。

村では「快適にインターネットを利用したい」という多くの要望を受け、全世帯を対象として七月に意向調査を行ったところ、千五百一十一世帯（回収率六九・三％）から回答をいただきました。

調査票を集計したところ、高速インターネット回線の仮申し込みの希望者が百四十二件ありましたので、集計結果をもとに、通信事業者などに対して高速インターネットサービスの早期提供を働きかけていきます。

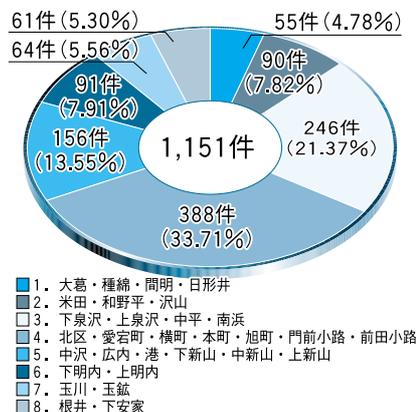
調査の結果は次のとおりです。

問2 自宅にパソコンを持っていますか

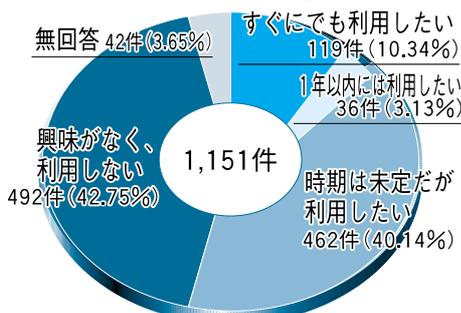


自宅でパソコンを使用している世帯が3割を超えています。

問1 あなたの住んでいる地区は

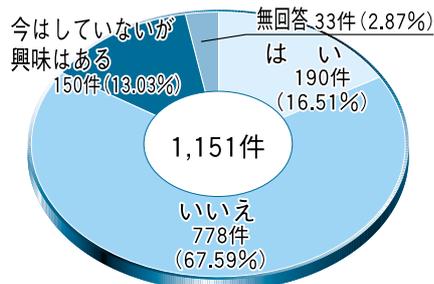


問4 高速インターネットを利用したいですか



利用を希望している人が半数を超えています。

問3 自宅でインターネットをしていますか



約3割の人が自宅でインターネットをしている、または今はしていないが興味があるとしています。

調査にご協力いただきましてありがとうございます。皆さんの貴重な声を反映させたいと考えています。

【問い合わせ先】
役場総務課 ☎78-2111
Eメール soumu@vill.noda.iwate.jp

県代表の自信と誇り胸に 野田中柔道部・吹奏楽部

柔道部



全国へ挑戦する米田愛美さん、小田あゆこさん、米田美代子さん

いうすばらしい成績をおさめました。

選手らは十七日から北海道札幌市で開かれる全国大会を控え、練習に汗を流していました。

米田美代子さんは「技を素早く展開させる自分の柔道を買って勝ちたい」、小田さんは「中学最後の大会では悔いの残らない試合をしたい」、米田愛美さんは「練習の成果を発揮してひとつでも多く勝ち進みたい」と力強く意気込みを語りました。

全国の頂点をにらむ選手らの目の輝きは目を追うごとに鋭さを増しています。全国から集まる猛者を退け、勝ち進む勇ましい姿を披露してくれるはずですよ。

吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール第四十一回岩手県大会で、自由曲の「フニクリフニクラ狂詩曲」を演奏し、中学校Bクラスの部で金賞を受賞しました。

部長の工藤朱美さん（三年、旭町）は、「部の最大の特徴はチームワークの良さ。コンクールで他校の楽器を準備する係りなども担当し、てきぱきとこなせた。厳しいプレッシャーを跳ね除けて獲得

した東北大会への大事な切符。最優秀賞を狙いながらも楽しんで演奏をしたい」と、部の団結力を信じて自信を覗かせました。

同部は二十三日の野田観光まつり前夜祭で「感謝の夕べ」と題した演奏会を企画しています。コンクールで披露する曲のほか、地上の星、プラウドメアリーなどを演奏する予定です。時間は十八時四十五分から十九時二十五分まで。

皆さんの熱い応援に対する感謝の気持ちを、演奏に込めて披露してくれます。盛大なアンコールの拍手で応えてあげたいですね。



自信に満ち溢れた表情で練習

野田中学校（鈴木敢治校長、生徒二百十五人）の柔道部と吹奏楽部が各県大会で見事頂点に輝き、県の代表として東北大会や全国大会に出場することが決まりました。

七月十九日から二十日まで、県営武道館で開催された第五十回岩手県中学校総合体育大会柔道競技の団体戦において、女子の部で優勝、男子の部では準優勝に輝きました。個人戦では、女子の部五十二級で米田美代子さん（三年、旭町）が優勝、同五七級で小田あゆこさん（三年、旭町）が準優勝、米田愛美さん（三年、玉川）が第三位、男子八一級で坂本良太くん（二年、北区）が準優勝と

久慈地方農業農村活性化推進協議会（会長・山内隆文久慈市長）は、広域六市町村長がハウレンソウなどの農家を巡回して激励する事業を行いました。

七月二十九日（火）、中川村長いわてくじ農協野田支店の下坪支店長ら二十人が村内の農家を巡回しました。

管内でもトップクラスの成績を誇るという崎廣忠夫・節子さん夫婦（広内）など三世帯を訪問して、

産地力のパワーアップを 村内野菜農家を巡回激励



中川村長から激励文を受け取る崎廣さん（右）

中川村長が「栽培管理に苦慮するこの時期を乗り越え、産地力を一層パワーアップして欲しい」と激励文を手渡しました。

崎廣さんは「堆肥置き場を共同で管理し、集落全体の収量を増したい」と意気込んでいました。

久慈地方のハウレンソウは昨年度までの二年連続で年間販売額が十億円を達成、地域の農業を代表する基幹品目に成長しました。

土づくりにこだわり熱意を持った村内の農家の皆さんは、これからも質の高い、おいしい野菜を提供してくれそうです。

きれいな海でお祭りを 小中生らが砂浜を清掃

七月十七日（木）、野田小の五年生、野田中の三年生、村老人クラブ連合会の会員、いきいきウォーキング同好会の会員など約二百人が集まり、十府ヶ浦海岸の清掃をしました。

小中一貫教育の一環として、のだ砂まつりの会場となる砂浜周辺のごみを拾いながら地域の環境に目を向け、世代間の交流も深めることを目的として開催したものです。高橋光邦村教育長は「この事業を通じて人とかかわり方が学

べる。来年は対象を広げたい」と成功を喜んでいました。

米田裕貴くん（野田小五年、前田小路）は「きれいな海にしたい」と思ってたたくさんごみを拾った。皆が気持ちよく使えるためにも捨てないで欲しい」と大きく膨らんだごみ袋を両手に抱えながら話してくれました。

華やかなイベントの裏では、地道ながらも重要な仕事を進んで行っている人たちが大勢います。この活動を知ったら決してごみは捨てられないですね。

笑顔と歓声に包まれ 在宅障害者の交流会



それ！上手にくぐった？

久慈管内から、参加者や運営のボランティアなど約百人が集まり、フライングディスクや輪投げを楽しみながら交流を深めました。

さわやかな汗を流した後の昼食は、おにぎりと村食生活改善推進員の皆さんが作ったホタテ汁に舌鼓を打ちました。

精神障害者は他者とかかわりを苦手とする場合が多く、周囲の偏見という大きな壁が、安心して生活できないという原因にもなっています。

この交流会は障害者の社会参加を進め、多くの人に精神の障害について考える機会をつくってもらうことを目的として毎年開かれています。



きれいな海大好きです

自然の偉大さ命の尊さ実感 野田村・岩泉町の小学生ら

八月六日（水）、野田小と岩泉町の安家小、大平小の児童四十人が安家川周辺の清掃とサクラマスの放流を行いました。

この事業は安家川流域環境保全推進協議会（島川良彦会長）が主催したもので、旧安家小学校川口分校の広場に集まった一行は、深い森林を縫うように流れる川沿いの道路から空き缶や紙くずを拾い集めた後、約十^匹に育ったサクラマスの稚魚一万尾をやさしく放流しました。

澤口沙希さん（野田小三年、南浜）は、「放流するときに胸がど



早く食べてー！



無事大きくなりますように

きどきした。大事に放した稚魚が無事大きくなって欲しい」と興奮冷めやらぬ様子でした。

放流を終えてお腹をすかせた子どもたちは、大きなおにぎりをおいしそうにほおばりながら、快晴の天気の下で楽しく交流しました。

アポイの樹風呼ぶまち



北海道様似町⑤1

第1回幼児センター運動会 フレ〜フレ〜！ 赤白

六月二十二日ふれあい広場で絶好の運動会日和に恵まれ、今年度から「おおぞら保育園」と「あすなる幼稚園」が一体となり「幼児センター」となつてはじめての大きな行事となつた運動会が行なわれました。

赤白に分かれ、一歳〜五歳までのかわいい園児たちがグラウンドいっぱい、かけっこ、遊戯、障害物競走、綱引き、鼓笛大行進など二十三種目に元気いっぱいかけ回る姿にお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんの大き

な声援が飛び、観客席のほうに興奮状態でした。

特に、四・五歳の園児は出番も多く、お兄ちゃん、お姉ちゃんらしく競技も小学校の競技に近いものが多く、障害物競走や紅白リレーには熱が入り、声援も一段と大きくなっていました。年長さんの鼓笛大行進では園児のかわいらしいバトンガール姿や見事な小太鼓演奏に、観客から大きな声援と拍手が鳴り止みませんでした。

グラウンドを囲んだ多くの観客は、成長した我が子、孫の姿を目とカメラで追い、大声援の中無事運動会は終了しました。



村の社会教育を支えた2人に 県社会教育連絡協議会より表彰

現村教育委員会委員長の小田實美さん（七）と、平成二年から平成十三年まで社会教育委員を務めた古館幹男さん（五）と、玉川川の二人が、県社会教育連絡協議会委員表彰を受賞しました。昭和六十二年から平成十年まで社会教育委員を務めた後、小田さんは、平成十一年から教育委員長に就任、古館さんは、小・中学校



表彰を受けた小田實美さん（左）、古館幹男さん（右）

のPTA会長を務めるなど、長年社会教育に携わるだけでなく、教育活動全体の発展に力を注いできました。賞状を手にした二人は、「皆さんのおかげでここまでやる事ができ感謝しています。これからでもできる限りのことをしていきたいです」とますます意欲を高め、受賞した喜びをかみしめていました。

図書館のことを楽しく学び、昔のおもちゃに大喜び



友だちと協力してクイズの答を考え中。何問当たったかな？

四日（月）、村立図書館で、小学生を対象にした図書館クイズ大会が開かれました。図書館の開館・閉館時間や、蔵書冊数など図書館のしくみに関するクイズや、館内にある本を探し出して答えるクイズなど、子どもたちは図書館中を歩き回って、熱心に答えを記入していました。クイズのあとは、久慈市にあるレトロ口



火が動力となるブリキの「ぼんぼん船」。現代っ子の目には新鮮に映ったようです

コレクション伊助の中野正利館長による、昔のおもちゃのお話を聞きました。中野館長が実際にブリキの鉄砲を使ってみせると、予想以上の大きな音にびっくり。昔のおもちゃが持つ独特の雰囲気や迫力に圧倒されながらも、真剣に話を聞く姿が終始見受けられました。子どもたちは、「クイズは分らないところもあったけど、楽しかった」「おもちゃの話で昔のことがよく分かった」「お父さんお母さんもブリキのおもちゃで遊んでいたのか聞いてみたい」など、いろいろな知識を得て、興味を持つ人がたくさんいたようです。

パソコンを使い 親子でTシャツづくり



「これがいいよ」とデザインを決めて…

ていねいにアイロンをかけて…



完成！個性がキラリと光る力作ぞろいです

一日(金)、総合センターで親子パソコンタイムが開かれ、親子四組・十名が参加し、オリジナルデザイン、または、インターネットから取り込んだ絵や写真を使い、オリジナルのTシャツづくりに挑戦しました。

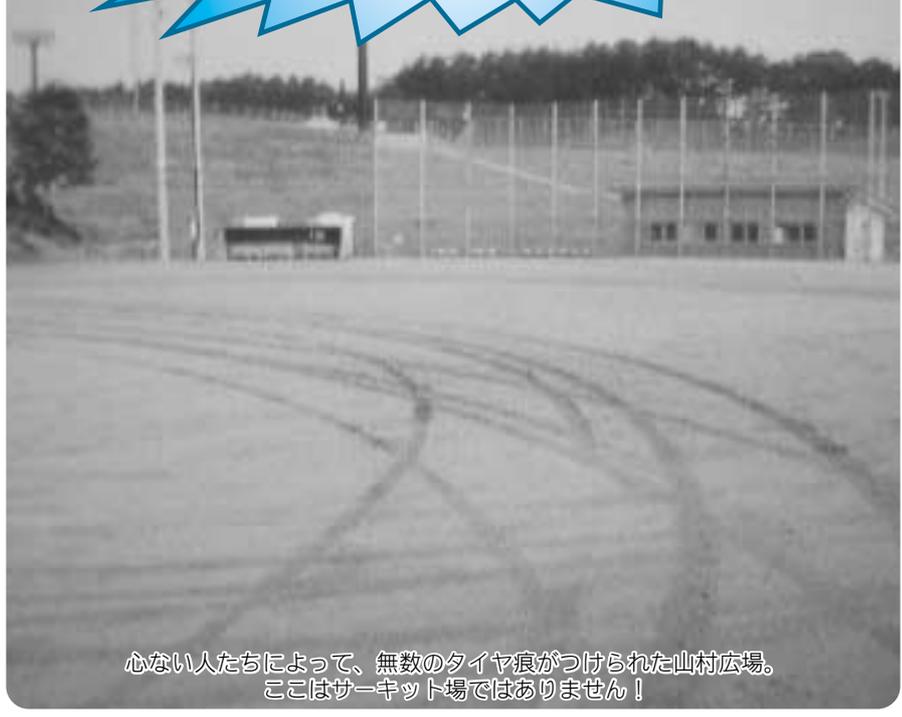
最初はパソコンの操作もおぼつかない様子でしたが、講師の先生に教えられるとすぐにマウスを使って絵を描く子どもが多く、親が子どもに教えられるという場面も見られました。その後、親子で

協力して慎重にアイロンをかけた終わり、「できたー」という声をあげて喜んでいました。

参加者は思い思いのオリジナルTシャツを手に「思っていた以上の作品ができた」「パソコンのこともアイロンのこともわかって楽しかった」と出来栄えに大満足。「親子でパソコンができて楽しかった」など、親子の絆も深まったようです。

親子の交流と、世界に一つのオリジナルTシャツ、パソコンの操作も学習し、とても有意義な夏休みの一日となったようです。

絶対やめてください!



心ない人たちによって、無数のタイヤ痕がつけられた山村広場。ここはサーキット場ではありません!

七月十六日(水)と二十八日(月)の早朝、山村広場に暴走車が進入し、無数のタイヤ痕が残されているのが発見されました。

山村広場を主会場に練習しているスポーツ少年団野球チームの選手たちは、「全員で整地して、いつも大切に利用している。なぜこんなことをするのか分からない」と残念な様子でした。

車両で走行すると、地盤の暗きよがふさがって、水はけが悪くなり、修復するのは非常に難しい状態になってしまいます。

現在はフェンスに鍵をかけるなどの対策をとっていますが、村民一人ひとりが皆で使う施設は大事にするという意識を持つことが、このような悪質な行為をさせない最善の策になります。

公共施設はルールを守り、大切に使いましょう。



手づくりのはしを手に「ハイ、チーズ」。食事はこのはしを使って食べました。

夏休み最高の思い出 2泊3日のキャンプ生活

集まれ野田っ子のキャンプが、玉川野営場と日形井で、八月五日（火）から二泊三日で行われました。「自然はぼくらの遊びの宝庫」をテーマに、参加者三十三人がさまざまな体験をしました。

初日は、テント設営の後、野焼きと毎回の食事で使う『はし』作りに挑戦。慣れない手つきながらも、立派な作品ができあがりました。夜は、歌合戦やリンボーダンス大会などで盛り上がりました。

二日目は、塩作りや昼食用のお弁当作りをした後、日形井でクイズを解きながらウオークラリーをして、夜は花火で夏の夜を楽しみました。

初めは上手くできなかった火の扱いも最終日には大人の手を借りずにできるようになり、朝食もあつという間にできあがり、日形井婦人部の会員からソバの種まきを学ぶと、「早く収穫したい」と子どもたちは嬉しそうに話していました。

さまざまな工夫をしてキャンプを成功させた野田っ子。「友だちと一緒に楽しかった」「初めてのことがばかりで大変だったけど、いろいろなことを体験できて良かった」など、最高の笑顔を見せながら初日より一段とたくましくなりました。



神明様神木ヒバを3人がかりで囲み、大きさを実感

目指せ、野田博士！

七月二十八日（月）、集まれ野田っ子と中平地区子ども会の四十四人が、神明様神木ヒバや前川善兵衛寄進の石仏、西行屋敷跡など四カ所を、ゴミ拾いをしながら見学しました。

文化財に指定されていますが、玉川千仞橋にも行き、「走って競争をしたのが面白かった」「怖くてあまり下を見られなかったけど、風が気持ちよかった」など、思い思いに楽しんでいました。

子どもたちの中には初めて知ったという人が多く、「『野田博士』を目指して、もっと野田のことを知りたい」と生まれ育った村を愛する心も芽生えたようです。

野田の名所探訪②

前川善兵衛寄進の石仏

野田村出身の前川（吉里吉里）善兵衛富昌は、上閉伊郡吉里村（現在の大槌町）の前川氏の養子となり、江戸時代中期、海産豪商として全国にその名をとどろかせました。

この二体の石仏は、善兵衛から海蔵院に寄贈されたもので、宝暦八年三月吉日と刻字されています。村の文化財として昭和五十一年に指定され、二百四十年余経った今でも、善兵衛の古里を思う心とともに海蔵院の境内に静かに鎮座しています。



古里を思う善兵衛の気持ちが伝わってきます
～のんちゃん、野田をゆく～より

大人も子どもも水に親しむ

水泳教室・アクアビクス教室

七月二十九日(火)から三十一日(木)まで、村民プールで悠Y O Uスポーツクラブの小学生を対象にした水泳教室と、十八歳以上の女性を対象にしたアクアビクス教室が開かれました。

水泳教室には、八十五人が参加し、講師にヤクルト八戸スイミングスクールの専任指導員を招いて、中級者と上級者の二班に分かれ、水泳の基本を学びました。

あいにくの雨で肌寒い中、先生の適切な指導で身体を動かすうちに、寒さも忘れて楽しみながら上達できたようです。

午後からのアクアビクス教室では、足腰に負担をかけずに水中を歩く健康法を学びました。「水の中で歩くだけでこんなにも続けたくなるなら、これからも続けたい」と意欲に燃えている参加者も多くいました。



息つきも完ペキ！もういくらでも泳げるよ



水ウォーキングは、見た目よりもカロリー消費が激しく、足腰に負担もかかりにくい



先輩の胸を借りて猛練習

久慈管内の高校生と交流 村スポ少野球チーム

県高等学校野球連盟主催の第三回少年野球交流会が、十日(日)、久慈工業高等学校グラウンドで、管内から十一チーム百二十人が参加して開かれました。

久慈工業高校、久慈商業高校、久慈高校の高校選手と少年野球チームが班を編成し、県高野連強化委員の指導のもと、アップ・体操・ランニング模範守備、各部門の指導や、午後にはバッティング方法などを楽しんで学びました。

閉会式では、村少年野球チーム野田スポーツの安藤伸くん(野田小六年、下新山)が、「面白く教えてもらいとても勉強になった。学んだことを生かし、大きな大会で立派な試合をしたい」と元気な声で、感想とお礼の言葉を述べました。

野田村は「すばらしい開催地」 県ソフトボール協会報に

県ソフトボール協会会報(七月十日発行)の『私の提言』欄に、六月二十八日(土)、山村広場で開かれた県実年ソフトボール大会参加者の、次のような文章が掲載されました。

「(前略)大会を担当された野田村の皆さんには、雨が降り寒い一日でしたが、私たち選手のために球場整備や補助員を努めていただき、本当にありがとうございました。また、今回このようなすばらしい開催地を決定した県協会にも感謝します」

県の中央部で大会が開かれる傾向がみられる中、県北の野田村での大会開催は、大変有意義なものだったようです。今後も、村外から訪れる人たちに「すばらしい」と感じてもらいたいですね。



感謝と慰労の一言。ぜひ、また開催してほしいですね

選挙人名簿登載の申請が必要です 岩手海区漁業調整委員会委員選挙

名簿に登載されないと、選挙権があっても投票することができません。該当する人は必ず申請してください。

平成14年度に登録している人へは、行政連絡員を通じて申請書を配布します。

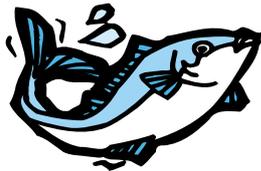
1 基準日

平成15年9月1日

2 申請要件

- (1) 野田村に住所又は事業所を有していること。
- (2) 1年に90日以上漁船を使用する漁業を営み又は漁業者のために漁船を使用して行う水産動植物の採捕若しくは養殖に従事する者であること。
- (3) 平成15年12月5日現在で満20歳以上であること。
(昭和58年12月6日までに出生した者)
- (4) 漁業協同組合員でない場合でも他の市町村において漁業に従事している者。

【問い合わせ先】選挙管理委員会事務局 ☎78-2111内線111



72歳以上が対象です

平成15年度 村敬老会

今年も敬老会を開催しますので、皆様お誘い合わせのうえご来場ください。

対象年齢は72歳以上となります。来年度以降は1歳づつ繰り上げて平成18年度からは75歳以上の人が対象となる予定です。

1 日 時 平成15年9月13日(土)

2 開 会 午前10時

3 場 所 野田村体育館

4 対象者 昭和7年4月1日以前に生まれた人(平成16年4月1日現在、満72歳到達者)

【問い合わせ先】

役場保健福祉課 ☎78-2927



川 柳

山里に原始人ごと姥住めり
選挙とはいつても誰も自主投票
もう一度立って歩くと妻の意地
高齢者改革弾がねらいうち

岩山 高陽
大沢 淡声
進藤 宝花
大崎 宏月

俳 句

霊前に捧ぐる供養は元氣のみ
和佐羅比の氣がかかる雲で梅雨を知り
うに取りのいつなる待てど梅雨さらじ
八月に今日か明日かと梅雨の明け
草刈機一段高く響く音
ひまわりも元氣半分冷夏なり
青葉濃く滝の飛沫に梅雨しぐれ
寒さ故とべぬ螢は草の陰
ほたる狩り水辺の葉かげ見えかくれ
母の碑や草取り語る盆ちかし

岩山 高陽
大沢 淡声
進藤 宝花
古山 静香
小林セツ子
岩山 晶川
古山 静香

短 歌

葉月まだ梅雨明けならぬ日々なりて
紙音たてぬ新聞ひらく
新しきヘルメットまだなじまざる
少年大工小鹿のごとし
太陽のあり処わからぬ梅雨曇り
アヤメの花は銀の玉露
久しぶり梅雨の晴間を散歩する
蝶も花々とび移りおり
砂まつり「なもみ太鼓」も波しぶき
雨恨めしく明日に祈る
太陽の有難さ知る梅雨晴間
蝸の声夏日待たるる
独りいて人恋う雨の夜の電話
救いの如く受話器を握る
六地藏帽子のよごれ替えくれし
人の笑顔に心浄まる
研ぎたての鎌持ち寄りて道端の
草さくさくと刈る朝すがし

岩山 高陽
大沢 淡声
進藤 宝花
古山 静香
福盛田浄信
大崎 宏月
小野のり子
小林セツ子
藤村 夢路
岩岡 野雲

むらさきの文芸

(八月投稿作品)
テーマ「裏盆」



みずみずしいホウレンソウ(広内地区)



ヒーローは俺だ!(砂まつり)



ウニ漁が真っ盛り(野田港)



安家川周辺を清掃(下安家地区)

あーっ!
フカーカス



シルバー110番

【日時】 9月20日(土) 10:00~16:00

☎0120-887-165

【問い合わせ先】 岩手高齢者総合相談センター ☎019-625-0110

職業能力開発コース

月 日	コ ー ス
9月3日 ・4日	表計算ソフト Excel (基礎)
10日・11日	JW-CAD講習Ⅱ
17日 ・18日	表計算ソフト Excel (応用)
10月1日 ・2日	ワープロソフト Word (基礎)
15日 ・16日	” (応用)

時間は9時から16時。1カ月前から2週間前までに電話などで受け付け。

【問い合わせ先】 岩手県立久慈職業能力開発センター ☎53-6261

いわて青年海外セミナー

シンガポール、またはマレーシアでホームステイし国際理解を深めたり、参加者が相互に交流する派遣事業を行います。

村では参加負担金の半額(75,000円)を助成します。希望する人は9月10日(水)までに申し込んでください。

【日程】 平成16年2月8日から14日(土)までの7日間

【対象】 県内に住む20~35歳の人

【参加負担金】 15万円

【問い合わせ先】 役場住民生活課 ☎78-2928

犬・猫の慰霊祭

動物愛護週間の事業の一環として、久慈保健所の管内で引き取り処分された犬や猫を供養するための慰霊を行います。

【日時】 9月26日(金) 14:00~

【場所】 久慈保健所犬抑留所(久慈市大川目町)

【問い合わせ先】 久慈保健所保健衛生課 ☎53-4987

犬の適正飼養等講習会

犬の正しい飼い方についての講習会を開きます。愛犬のためにも進んで参加しましょう。

【日時】 9月25日(木) 15:00~16:00

【場所】 久慈地区合同庁舎健康増進室

【問い合わせ先】 久慈保健所保健衛生課 ☎53-4987

村のホームページに掲示板を開設しました

インターネットを通じて、村についての情報や意見の交換をする場として活用してもらうため、村のホームページに掲示板を開設しました。

自宅にパソコンがない人は、村図書館のパソコンから投稿できます。ぜひご活用ください。

何でも掲示板 : 自由な情報や意見の交換にご利用ください

市町村合併を考える掲示板 : 市町村合併について、ご意見やご提言を書き込んでください

アドレス : <http://www.vill.noda.iwate.jp>

家族入浴券が当たる!

かんたん3択 広報クイズ

次の問題の正しい答えをはがきに書いてお送りください。

友好町村交流事業で、北海道様似町のアポイの火まつりに参加しました。村の山車を披露するため代車を運び込んだ移動方法とは次のうちのどれ?

1. クレーンで吊り上げて移動した
2. 念力で持ち上げて瞬間移動した
3. 皆でかつぎ上げかなり苦勞した

【応募方法】

はがきにクイズの答えと住所・地区名、氏名、年齢を明記してお送りください。正解者の中から抽選で3名に家族入浴券をプレゼントします。応募は一人1通。当選者発表とイラスト、声の欄の氏名掲載はなるべく本名とします。

【締め切り】

平成15年8月29日(金)(当日消印有効)
広報や村に対する質問、身近な話題などお寄せください。いろんな情報、ちょっと一言、情報交換も大歓迎!

【家族入浴券当選者】

正解は1「手続きが簡単に便利な住基ネット」でした。当選した皆さんおめでとうございます!

入浴券

- ・小 峠 明日香さん (上明内)
- ・坂 元 朋 美さん (玉 川)
- ・野 崎 圭 太くん (上泉沢)

ケーキ・シュロー

- ・上 平 静 香さん (上明内)
- ・大 谷 美 波さん (北 区)
- ・下 向 理 奈さん (旭 町)
- ・打 座 和 音さん (北 区)
- ・大 澤 しおりさん (横 町)

「検診を受けよう」

検診を受ける目的は、「病気の早期発見・早期治療」から「病気の予防」に変わってきています。検診を受けることで健康や生活習慣を見直すことにもつながることから、年1回は検診を受けようといわれています。

「健康であること」は人生の目標ではありませんが、人生の目標・夢をかなえるために心身の健康は欠かせません。毎年、健康診断を受けている人に受診している理由を聞くと「自分のためだから」「病気が早く見つかり早く治療ができるから安心」といった内容でした。中には、「毎日歩いているから、その効果が出てくるか確認したくて」といった人もいました。逆にほとんど受けていない人に受診しない理由を聞くと「健康だから」「面倒だから」「引っかけり精密検査を受けるのが怖い」といった答えが

返ってきました。

毎年受診している人と、久しぶりに、または初めて受診した人との結果を比較してみると、毎年受診している人たちの方が所見があっても軽い人が多いようです。久しぶりに受診した人たちの中には無症状で病状が進行している場合もあります。

九月一〜五日まで、野田村総合センターなどで多項目検診、肺がん検診、大腸がん検診が実施されます。四十歳以上の人が対象で、昨年度の多項目検診は出稼ぎ者を含み六百四十六人が受診しています。対象者の約四五%が受診したことになりましたが、残念ながら受信者は年々減っているのが現状です。村の検診だけではなく、人間ドック、病院や職場での検診など、健康管理のための検診の場はあちこちで設けられています。進んで受診しましょう。



中村佳津美 保健師

戸籍の窓口

☆お誕生おめでとう (敬称略)
奥寺 凛 (和寿・竜子) 下安家
松葉良太 (祐二・みつ美) 門前小路

♥いつまでもお幸せに
(和泉高道 金ヶ崎町山
田中美香 下新山
外館尚紀 港町沢
一本木律子 市泉
(晴山幸吉 下泉
吉田留美子 横町)

■ごめい福を祈ります
大平秀一 (50歳) 中平
下川定雄 (69歳) 前田小路
掲載を遠慮される方は、届け出のときに戸籍係に話してください。
届け出の期間は、出生届が生まれた日を含めて14日以内、死亡届は7日以内です。

人のうごき (7月末現在)

男	2,639人 (±0)
女	2,743人 (-1)
計	5,382人 (-1)
世帯数	1,658戸 (-3)

- 村内の交通事故 人身事故0件 物損事故6件
- 救急車出動件数 10件
- 飲酒運転検挙者数 0人 (平成14年10月からの累計6人)

貸し出し用自転車を募集

陸中野田駅では、観光に訪れたお客さんに貸し出すための自転車を募集しています。
家庭で眠っている故障していない自転車をお譲りください。

【問い合わせ先】陸中野田駅 ☎78-2106

様似町のアポイの火まつりに参加させていただきました。村若連の熱い心意気が通じたのか連行直前に土砂降りの雨をピタリと止ませるといふ奇跡まで披露(?)し、無事運行することができました。一行は町をあげての歓迎を受け言葉にならないほどの大変なご協力をいただき貴重な交流ができました。特に夜の飲食店では「野田村」を盛大にアピールできたようです。事業に携わったすべての皆さんお疲れ様でした。今度は村のお祭りがんばりましょう!
(貳文)

No. 10

村長室だより

八月十五日 中川正勝

今月下旬まで低温傾向が続く見込みで、梅雨明けしないままに季節は秋に移行したようであると新聞などで報じられた翌日の十三日、太陽が顔をのぞかせた。しかし、ジリジリとした暑さは感じないし、朝夕に吹き抜ける風には初秋の冷たさがある。いつもなら旧盆を挟んで夏真盛りで、寝苦しい夜も二夜や三夜があるはずなのに夏の掛け蒲団は手放せない。
こんな状態だと、気になるのが水稲の生育状況である。低温、日照不足は、全国的に大冷害で凶作となった平成五年に類似しているといわれ、秋の収穫量が心配される。ところどころで、十年前の「平成のコメ騒動」が、ちらりと頭をよぎるところである。家の近くの田圃から稲一本を失敬して、穂と

るべきものが確実に形成されていくことから、今後の天候回復がカギとなるであろうが、盆の入り十四日は雲が重く垂れた今年の夏に逆戻りである。
戻りといえ、ここ野田村で生まれ、関東で暮らす人々の「野田はまなす会」の総会が、結成十五周年を記念して「えぼし荘」で盛大に開催された。記念の植樹やフレンドワーク野田(出稼ぎをしてる方々の会)の会員との交流会も時間短しの感で終了した。
年齢を重ねる程に生まれ故郷が恋しくなるこの言葉や旧知の人との再会の笑顔は、先祖が里帰りする盆という日本の風習がもたらしてくる最大の贈りものである。先祖があつて今があり、先人があつて今があるのである。

はじめてのお誕生日

お誕生日おめでとう



カほ
葉帆ちゃん (下新山)
平成14年8月5日生まれ
小谷地弘樹・瞳さん 長女
—お父さん・お母さんから—
元気に大きく、心の優しい子
に育ってね♡



そういちろう
宗一郎くん (日形井)
平成14年8月7日生まれ 泉田之也・はるみさん 長男
—お父さん・お母さんから—
立て! 立つんだ! 宗!



るみと
史人くん (中沢)
平成14年8月30日生まれ
廣崎利春・美香子さん 三男
—お兄ちゃんたちから—
今はまだ小さくて、ほく達のおもち
やだけでも少し大きくなったら—
一緒に泳ごうぜ!

みんなのイラストコーナー



坂元朋美さん(玉川・9歳)
◎これらもよさしくね



上平静香さん(上明内・10歳)
◎いい表情してますね



野崎ま太くん(上泉沢・10歳)
◎大人気のメカガネ



下向理奈さん(旭町・13歳)
◎力のある瞳ですね



打座和音さん(北区・6歳)
◎川崎ちゃん達の瞳の輝き



打座美優さん(北区・10歳)
◎にぎやかですね



小峠明白香さん(上明内・8歳)
◎かわいく書いてます



大澤いおなさん(横町・8歳)
◎犬顔ですね



川平ゆみさん(中新山・12歳)
◎スレンダーでスナキ



大崎祐吾くん(港・9歳)
◎プリンが横になっちゃった



大澤ちはやさん(横町・10歳)
◎気に入ってますね



大谷美波さん(北区・10歳)
◎くつろぎのひととき



小野寺十晶さん(下明内・9歳)
◎歯が見えぬ!



野崎祐太くん(上泉沢・8歳)
◎目の柔らかいスマービー

ヤング登場

No. 227

今回は中平の根井啓光さん(20歳)を紹介します。



—お仕事は久慈市のジョイイ中の橋店で仕事をしています。

—趣味はズバリ野球! 村内の3つの野球チームを股にかけています。

—自慢できるものは小学校から高校までの自分の野球チームの写真です。今は衰えましたが昔はスゴかったです。

—困っていることは休みが平日のため、友だちと遊べなくなったことです。

—好きなものは愛犬のジョンです。年老的にヨボヨボになりましたけど。

—村については野田村は海がきれいなので大好きです。

—自分の性格は何でも仕切ってしまいます。リーダーと自己中心は紙一重? —目標は村のすばらしい球場で、ホームランを打ちたいです。

—理想の異性のタイプは楽しく喋りあえる人がいいです。何でも言いあえないとダメですね。

実は3つ股かけてます!